

## 第 8 回

開催日時	平成22年7月8日（木曜日） 午後6時35分～8時45分	
開催場所	沼袋地域センター 洋室3号	
出席者	委員	長谷川嘉昭、内山佐和子、阿藤 敏子、鈴木 真司、古間 忍、 亀井 京子、竹内 実、石久保敏子、本間みどり、小林 尚美、 隅田 亜弓、村越 昌昭、加賀田真理、内野 秀夫、千葉 千恵、 吉村 恒治 (敬称略、順不同)
	事務局	学校再編担当
傍聴者	0人	
会議次第	<b>【議事】</b> 1 統合新校の校章の検討について 2 統合新校のあり方について 3 統合新校の通学路について 4 その他	

## 第 8 回 丸山小学校・沼袋小学校統合委員会 会議要旨

## 副委員長

本日は、委員長が欠席とのことなので、私（副委員長）が議事進行を行う。定刻となったので、これより第8回統合委員会を開会する。

本日、傍聴を希望する方はいないとのことである。

本日は、議事に入る前に報告事項があるとのことなので、事務局より報告してもらう。

■「中野区立学校設置条例の一部を改正する条例」について、事務局より口頭にて報告（概要）

- ・ 野方小学校・丸山小学校・沼袋小学校を廃止して「平和の森小学校」と「緑野小学校」を設置することを盛り込んだ『中野区立学校設置条例の一部を改正する条例』が、本日、区議会（第2回定例会）において賛成多数で可決された。
- ・ このことにより、平成23年4月に「平和の森小学校」と「緑野小学校」を開校することが正式に決まった。

## 1 議 事

### (1) 統合新校の校章の検討について

#### 副委員長

それでは、議事に入る。

まずは、「統合新校の校章の検討」について、事務局より説明してもらう。

#### ■資料「統合新校の校章の検討について」に沿い、事務局より説明

(概 要)

- ・ 前回の統合委員会では、校章デザインの募集結果をもとに、統合新校にふさわしい校章について協議していただいた。
- ・ 協議の中では、既に完成品に近い作品と手書きの作品では比較しにくいということから、手書きの作品のうち4点を選んでいただき、それを専門家にデザイン化してもらったうえで完成品に近い作品と比べていくことになった。
- ・ 配付した資料は、前回選んでいただいた4点の手書きの作品をデザイン化したものと既に完成品に近かった4点の作品を並べて比較できるようにしたものである。
- ・ 本日の協議では、この配付資料をご覧いただきながら、統合新校の校章としてふさわしいと思われるもの1点を選定していただきたいと思う。また、その選定したものについて、修正などが必要であれば、その意見についてもまとめていただきたい。

#### 副委員長

事務局より説明があったが、意見などがあればお願いしたい。

#### 委 員

どうしてもデザインの好みで選んでしまいがちだが、それぞれの作品にはどのような意味を込めて描いたという説明が書かれているので、そういった意味も考慮して検討したほうがよいと思う。

#### 委 員

デザインの説明には、(子どもたちが書いているので)少し言葉が足りないものもあるが、そんなに差は無いと思う。1行しか書かれていないものでも、思いがこもっていないという訳ではない。基本的には、デザインで選んでよいのではないか。

専門家にデザイン化してもらうと、稚拙なデザインと思っていた手書きの作品もよくなった。私は、「A」と「B」がシンプルでよいと思う。逆に、「F」と「G」は校章としては少し重く感じる部分がある。

#### 委 員

私も、「A」「B」「C」「D」がよいと思う。特に、「C」は校章としてはあまり見かけないデザインでおもしろいと思った。

#### 委 員

(同じ校名である)緑野中学校の校章と区別がつくように、「緑野」だけではなく「緑野小」と文字を入れたほうがよいと思う。「C」はシンプルで、“輪(和)がある”“手を携える”というようなイメージがあるので、これに「緑野小」と入れればよいのではないかと思った。

## 委員

緑野中学校の校章は、重なった2枚の葉の中央に「中」と書いてあるだけである。「緑野小」まで文字を入れてみて長く感じるようであれば、「緑野」だけでも差し支えないと思う。

私も、デザインは「C」がシンプルでよいと思っている。「D」もよいと思うが、「緑野小」の文字が小さく感じる。

## 委員

私も、凝り過ぎているデザインよりはシンプルなデザインのほうがよい。「C」は、子どもたちにもわかりやすいと思うし、画期的である。

## 委員

私は、「C」のデザインを見たときに何かを両手で包み込んでいるイメージを持った。2枚の葉が描かれているが、統合する両校という意味にもとれるし、保護者と地域の双方に学校が支えられているという意味にもとれる。そういったデザインのイメージや意味などを含め、私は「C」を推したいと思う。

## 委員

小学生ということを考えると「D」もかわいいと思ったが、校章として活用していくことを考えると、シンプルな「C」のほうが使い勝手がよいのではないかと思った。

## 委員

校章のデザインは、意味があるもので、なおかつシンプルなものがよいと思っている。

「D」のデザインにはいろいろな意味が込められているが、これだけいろいろな意味が入ると逆に重い印象を受ける。また、「F」や「G」も同じように感じた。

「E」でデザインされている葉は、緑野中学校の校章の葉に似ている気がする。緑野中学校と区別をつけるためにも、同じようなデザインは避けたほうがよいと思った。

消去法のような意見でまとまっていないが、「C」は（校章の）候補としてよいと思う。

## 委員

私は、ふんわりと丸いイメージの校章がよいと思っている。「B」のデザインの周りに円が付けば、葉をつなぐような形になってよくなるのではないか。やはり“緑”のイメージが強い「B」か「C」がよいと思う。

## 委員

私も、「C」がよいと思う。また、「A」もかわいらしい印象を受けた。

「B」のデザインは、全体的に葉が細く、とがっている印象を受ける。校章として使用するには、あまり使い勝手がよくないのではないかと思った。

## 委員

私も、「A」と「C」がよいと思った。「C」のデザインは、先ほど出された意見のようにシンプルで意味も広く受け取れる。

## 委員

なかなか絞りきれないが、「A」や「H」といった対称性を崩したデザインもおもしろいのではないかと思った。基本的には、“子どもたちの印象に残りやすい”“使い勝手がよい”というような視点で判断したほうがよいと思う。

## 委員

既に完成品に近かった作品（「E」「F」「G」「H」）は、大人の視点で描かれたものだと

思う。できれば、子どもたちが描いた作品をデザイン化した「A」「B」「C」「D」の中から選んであげたいという気持ちがある。

ただ、どれを選ぶかということになると迷うところであるが、「A」はほかの学校にはないデザインで、上品なイメージがあってよいと思う。わかりやすさを考えると、各委員から意見が出ている「C」もよいと思う。「D」は少しくどい印象を受ける。

#### 委員

私も、子どもたちが考えてくれた「A」「B」「C」「D」の中から選びたいという気持ちがある。ただ、「D」のデザインは小さくするとわかりづらくなってしまおうと思うので、「A」「B」「C」から選ぶのがよいと思う。

#### 委員

「A」はほかの学校でもあまり見受けられないデザインで、かわいらしい印象を受けた。

「D」「F」「G」のデザインは複雑過ぎて、小さくしたときに見にくいと思う。また、校章を体育着にアイロンでつける場合、複雑な細い線などは剥がれやすいのではないかと思った。

そういった使い勝手を考えると、シンプルな「C」のデザインもよいと思う。

#### 副委員長

校章は、校旗や体育着のほか、こういったものに使われるのか。

#### 委員

通学帽子を指定した場合には、帽子に校章を入れることが考えられる。また、学校の校舎の壁面や体育館の一文字幕、演台、学校のプリント類などでも使われる。

#### 委員

色はつくのか。

#### 事務局

基本的には、モノクロの濃淡で表したものになる。色については、校旗やプリント類など、使用するものによって使い分けていくことになると考えている。

#### 委員

「A」「B」「C」「D」の作品は、子どもが応募してきた作品なのか。

#### 事務局

一概に子どもの作品とは言い切れない。地域センターなどでも募集を行っているので、地域の方が応募されたものもあるかもしれない。

#### 副委員長

各委員より意見が出されたが、いきなり1つの校章を選定することは難しいので、少しずつ絞り込んでいきたいと思う。

ここまでの意見では「A」「B」「C」「D」がよいという意見が多いようなので、まずはこの4つの中から選ぶことにしたいと思うがよろしいか。

—— 異議なし ——

#### 副委員長

校章の候補は4つとなったが、今後どのように選定していくか、意見があればお願いしたいと思う。

#### 委員

ひとつひとつ丁寧に見ていってはどうか。それぞれのデザインについて、各委員からよいと

思うところや好ましくないと思うところなどの意見を出してもらうのも1つの方法だと思う。

**委員**

私も、同じ意見である。以前に参加していた別の統合委員会では（デザインの問題点などを挙げて）結果的に落として決めたという感覚があるので、それぞれのデザインのよいところを出し合っていくほうがよいと思う。

**副委員長**

“それぞれのデザインのよいところを出し合っていく”という方法が提案されたが、最終的に1つのデザインを選定する際のヒントになるかもしれないので、そのように進めていきたいと思うがよろしいか。

—— 異議なし ——

**副委員長**

それでは、まず「A」のデザインについて、意見があればお願いしたいと思う。

**委員**

小さい葉がすごく繊細でよいと思う。

**委員**

左右が微妙に違っている。バランスをとりたくなるが、この左右対称でないところがよい。このようなデザインは、ほかの学校ではあまり見かけない。

**委員**

いろいろな個性の子どもたちがいるようなイメージである。

**委員**

応募のあった多くのデザインは校名が縦書きだが、「A」のデザインは横書きでアーチ状になっていて画期的だと思う。

**副委員長**

次に、「B」のデザインについてはどうか。

**委員**

これは明らかに子どもからの応募と思われる作品である。葉が細くてとがっているイメージを受けるが、気になるようであれば周りに円を付けたり、校名の文字の字体を変えたりすればイメージが変わると思う。なかなか捨てがたい作品である。

**委員**

細い葉の幅を広げて、もう少し丸みをもたせてもよいと思う。

**委員**

小さい葉が周りへ伸びていこうとしている印象を受ける。

**委員**

小さい子どもたちが、大きく成長していく様子が表れている。また、ここにあるデザインの中で一番“緑”を連想することができ、「緑野」という校名のイメージにあったデザインだと思う。

**副委員長**

次に、「C」のデザインについてはどうか。

**委員**

「C」については、先ほどから推す意見が多かったので、出尽したのではないか。

**委員**

「C」についても、校名の文字の字体を変えてもよいのではないかと思う。

**委員**

デザインがシンプルすぎる印象を受けるのであれば、何かを付け加えるのもよいと思う。ただ、このデザインはシンプルなところが気に入っているので、このままでもよい。

**副委員長**

先ほど、校名の文字を「緑野」とするか、「緑野小」まで入れるのかという意見があったが、それについてはどうか。

**委員**

緑野中学校の校章に「中」の文字しか入っていないことを考えると、あえて「緑野小」まで入れなくてもよいのではないか。逆に、「緑野小」まで入れるとバランスが悪くなってしまおうと思う。

**委員**

中野区立小学校の校章で「小」の文字が入っているものは1つも無いので、「緑野」でよいと思う。

**副委員長**

次に、「D」のデザインについてはどうか。

**委員**

お皿の絵のような、きれいなデザインである。

**委員**

先ほどの意見にもあったが、校章としては複雑で重いイメージを受ける。原案をいじるのはよくないと思うが、少し余分なところを削ったり、文字を大きくしたりすれば印象が変わってくると思う。

**委員**

「D」のデザインの応募された原面を見ると、もともと色が付いていたのではないかと思う。色分けされると、きれいに感じるのではないか。

**副委員長**

「A」から「D」まで、ひと通り意見が出されたが、どのように選定していくか。

**委員**

本日の協議で、この中から1つの校章を選定しなければならないのか。例えば、今回の統合委員会では2つくらいの候補を選び、専門家にその2つの候補の修正したデザインを何パターンか作成してもらったうえで、次回の統合委員会で協議することはできないのか。

**事務局**

予算的には、もう1回くらいは専門家に作成してもらうことが可能であるが、作成できるのは2種類程度となる。それは、2つの候補を1種類ずつ作成してもらうこともできるし、1つの候補を2種類作成してもらうこともできる。ただ、事務局としては、最終的な校章を選定するうえで、候補は1つに絞っていただき、その候補を微修正するようなかたちで進めていくことを想定している。

**委員**

2つの候補は必要ないと思う。予算的にも事務局から説明のあったとおりの状況なので、腹

をくくって1つの候補を選定したほうがよい。

#### 委員

2つの候補の修正したデザインを作成したとしても、結局はどちらかの候補を落とすことになる。私も、1つの候補を選定して、その葉の形を変えたり、校名の文字をアレンジしたりすることを考えたほうがよいと思う。

#### 副委員長

それでは、今意見が出されたように1つの候補を選定して進めたいと思う。

選定にあたっては、各委員の好みもあり、協議だけでは決めにくい部分があるので、投票を行ってみたいと思うがいかがか。

#### 委員

投票数が一番多かったデザインに決定となるのか。

#### 委員

半分以上の票数が集まったら、決定でよいのではないかと思う。

#### 副委員長

票数が割れることも考えられるので、まずは投票を行い、結果に応じて検討していきたいと思う。そのようなかたちで進めてよろしいか。

—— 異議なし ——

#### 副委員長

それでは、「A」「B」「C」「D」の中から、統合新校の校章としてふさわしいと思われるものを、各委員1つずつ選んで投票してもらいたい。

—— 投票 ——

#### 事務局

投票結果が出たので報告する。本日は16名の委員が出席しており、結果は、「A」が5票、「B」が3票、「C」が8票、「D」が0票であった。

#### 副委員長

今の投票結果では、「C」の票数が一番多かったが、過半数には達していない状況である。順位だけで考えると「C」を校章の基本デザインにすることになるが、どのように考えるか。

#### 委員

「A」に5票も入っている。「C」以外の票数が分かれているようであれば問題なく「C」に決めようということになるかもしれないが、5票という数字は大きいように思う。

#### 副委員長

それでは、「B」に投票された方には申し訳ないが、「A」と「C」で改めて投票を行ってみたいと思うがいかがか。

—— 異議なし ——

#### 副委員長

それでは、「A」と「C」のうち、統合新校の校章としてふさわしいと思われるものを、各委員1つずつ選んで投票してもらいたい。

—— 投票 ——

#### 事務局

投票結果が出たので報告する。結果は、「A」が6票、「C」が10票であった。

## 副委員長

2回目の投票結果は、報告のとおりである。このことから、「C」を校章の基本デザインにしたいと思うがよろしいか。

—— 異議なし ——

## 委員

提案であるが、「A」のデザインで使われている桜を、「C」のデザインに入れてアレンジしてはどうかと思った。素敵な桜のデザインなので、「C」の基本デザインを崩さずに入れることができれば、「A」の思いもくみ取ることができるのではないか。

## 委員

よいアイデアだと思う。それが可能であれば、「A」を落とさずにすむという思いにもなる。

## 副委員長

今の意見のようなアレンジは可能なのか。

## 事務局

2種類までであれば、アレンジすることは可能である。ただ、こういった形のものをどこに配置するのかという具体的な案を、統合委員会の意見としてまとめていただきたいと思う。

## 委員

そうすると、「C」の基本デザインはそのまま候補にするとして、「C」のデザインに桜を入れたものを作成し、次回の統合委員会で比較しながら検討することになるのか。

## 副委員長

そのようになる。

今、事務局よりアレンジについての説明があったが、「C」のデザインを具体的にどのようにアレンジしていくか、意見があればお願いしたい。

## 委員

「C」でデザインされている葉が、何の葉なのかということが少し気になる。「C」のデザインに桜を入れるのであれば、やはり桜の葉でなければおかしいのではないかなと思う。単なるデザイン的な葉でも構わないとは思いますが、いずれ校章の説明をするときに、桜を入れた意味や葉を入れた意味づけが必要になってくる。

## 委員

設置される学校は公立学校なので、いろいろな個性を持った子どもたちがいるように、いろいろなことがあってよいと思っている。全てを（桜に）統一しなくても、バランスがよければ、それでよいのではないかな。また、「C」の説明欄には「この葉のように、丸く、ソフトに…」とあるので、基本となるこの部分は尊重して、形は変えないほうがよいと思う。

## 委員

「C」のデザインの上部に小さな桜をあしらって、2枚の葉の茎をつないでもよいと思う。

## 委員

デザインのバランスを考えると、上部にはあしらわないほうがよいのではないかな。

## 委員

私も、デザインの上部に桜をあしらうのはイメージがしづらい。桜をあしらうのであれば、デザインの下部のほうが自然だと思う。デザインの下部に桜をあしらったものを2種類作ってもらってはどうか。

## 委員

（「A」の説明欄を見ると）統合新校が設置される丸山小学校には桜がたくさん咲いているイメージがあるようなので、「G」のデザインのような桜がよいと思った。

## 委員

アレンジするのであれば、桜を1つあしらうのか、2つあしらうのかということにして、「A」の桜をベースに考えたほうがわかりやすいと思う。そうでなければ、桜だけで何種類もイメージが出てきてしまう。

## 委員

「A」のデザインの桜は黒で塗りつぶされているが、白抜きした桜をあしらったほうがよいと思う。

## 副委員長

アレンジするデザインについて、具体的に何をどこに配置するということを決めないと専門家に依頼できないのか。

## 事務局

より具体的に指示していただいたほうが、各委員のイメージに近いデザインを用意することができると思う。例えば、“白い桜を「C」のデザインの空いている部分に入れてほしい”というだけの指示であれば、桜の大きさや形、配置などは専門家に任せることになるので、各委員のイメージしているデザインと多少異なったものになる可能性はある。

## 副委員長

具体的にデザインを示したほうが、各委員のイメージに近いものが出てくると思われる。

ここまで出された意見を踏まえ、今、2人の委員に「C」のデザインに桜をあしらったものを2種類描いていただいた。1つは校名の下に白い桜が1つのデザインで、もう1つは校名の下に白い桜が2つのデザインである。

—— 委員が描いた2種類のデザインを提示 ——

## 副委員長

この描いていただいた2種類のデザインを専門家にデザイン化してもらい、次回の統合委員会では、そのデザイン化されたものと投票で選定した（そのままの）「C」のデザインを比較しながら検討したいと思うがよろしいか。

—— 異議なし ——

## 委員

確認であるが、校名の文字の字体は、次回の統合委員会の検討の中で変更することはできるのか。

## 事務局

専門家とも相談してみるが、文字の字体であれば、次回の統合委員会後でも変更することは可能だと思う。

## (2) 統合新校のあり方について

## 副委員長

それでは、次に「統合新校のあり方」に移る。この議題については、まず事務局より議事の

趣旨について説明してもらい、その後に学校より資料の内容を説明してもらう。

■議事の趣旨について、事務局より口頭にて説明

(概要)

- ・ 現在、丸山小学校と沼袋小学校では、統合新校の教育活動をどのようにしていくかということについて話し合いが進められている。夏休み期間中には両校の先生方が何度か集まって集中的に検討が行われるとのことで、次回の統合委員会では統合新校の教育目標などの案をお示ししていただく予定である。
- ・ 教育目標や特色ある教育活動などの教育課程に関わることは学校が定めていくものであるが、本日は統合委員会の各委員から“統合新校に期待すること”や“両校が取り組んでいる活動で残してほしいもの”などの意見があれば伺い、今後の両校での話し合いの参考にしてもらいたいと考えている。
- ・ 配付した資料は、今年度の両校の学校経営方針である。本日の協議の参考としてもらえればと思う。

■資料「平成22年度学校経営方針（丸山小学校）」に沿い、学校より説明

(概要)

- ・ 丸山小学校の教育目標は、「自立と共生」である。かみ砕いて言うと、この地域社会の中で約束事を守り、地域のために役立ち、仲間として一緒にそこで育っていくといったことになる。
- ・ 沼袋小学校が掲げている「コミュニケーション」も、人と関わることの中で子どもたちが社会性を身につけ、学力を身につけ、体力を身につけて育ってほしいという願いを込めてつくられたものだと思うので、両校の教育目標にそんなに大きな食い違いはないと思っている。
- ・ 本年は統合前年ということもあり、特に「共生」の部分強調して運営している。地域の方などを招き入れ、いろいろな意味で共に教育をしていくという取り組みをしているところである。緑野小学校を開校するにあたって、沼袋小学校のイメージをくみ取りながら、地域に根ざしたかたちの教育を進めていきたいと思っている。

【平成22年度学校経営方針（丸山小学校）】

《学校の教育目標》

激しく変化する知識基盤社会を社会、自然・環境と協調しながら自立的に生きるための基礎的・基本的な能力と態度の育成を目指し、次の目標を設定する。

「自立と共生」

《めざす学校像》

子どもを中心に据え、学校（教職員）、保護者、地域がそれぞれの役割を担って集う学校づくりをめざす。

めざす学校像

子どもが目を輝かせて学び、保護者、地域が暖かく支え、教職員が熱意をもって指導にあたる学校

～学ぶ感動、集う楽しさ、支える喜び、働く喜びのある学校～



めざす保護者・地域像	めざす子ども像	めざす教職員像
<p>○ 学校での指導と連携して子どもを育て、学校で不足する面を意図的に補い、社会の一員として子どもたちを育てていく家庭や地域。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが社会の中でたくましく生きられるようによき支援者となる。</li> <li>・ 保護者や地域の教育力を学校で役立てる。（外部講師として）</li> <li>・ 課題を学校とともに解決する</li> <li>・ 家庭や地域の教育の大切さを知り実行する。（社会規範、マナー等）</li> <li>・ 子どもや学校のよさを伸ばす。</li> <li>・ 教育活動やPTA活動、町会等の地域活動に進んで協力、参加する。</li> <li>・ 子どもにより地域環境を整える。（交通事故、不審者等から守る）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域社会の中で人や自然とかかわりあいながら学ぶ子</li> <li>・ あいさつができ、地域や他の人のために役立つことを進んで行う子</li> <li>・ いろいろな立場の人とコミュニケーションがとれる子（福祉・国際理解）</li> <li>・ 夢や希望をもち、悲しさや苦しさを乗り越えるたくましさをもつ子</li> <li>・ 思いやりの気持ちをもち、自分も他人も大切にする子</li> <li>・ 運動や外遊びを進んで行い、健康や安全に気をつけて生活する子</li> <li>・ 苦手な勉強にも積極的に挑戦して、学力を身に付けようとする子</li> <li>・ 自然環境、読書、音楽や図工などに関心をもって意欲的に学ぶ子</li> </ul>	<p>○ 学力をつけるために授業改善、教材開発などに積極的に取り組み、子どもとよくコミュニケーションをとりながら熱心に指導に当たる教員とそれをいろいろな立場から支える職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの基礎学力の向上に努める。</li> <li>・ 進んで研修して専門職としての力量を高め、情熱と愛情をもって指導にあたる。（「教師の力」の向上）</li> <li>・ 子どもや保護者の悩みに誠意をもって対応する。</li> <li>・ 保護者や地域の願いを受け止め進んで連携・協力しようとする。</li> <li>・ 課題に組織的に素速く対応する。</li> </ul>

※ 2学期制の特性を生かし、学期ごとの切れ目のない年間を通した連続的な教育活動を推進する。

※ 丸山小としての教育活動をしっかり締めくくり、新しい学校（緑野小）に引き継いでいく。  
《めざす学校像の実現のために》

**学習指導「学ぶ感動（わかる喜び・できる喜び・感じ、考え、表現する喜び）のある学校」**

学ぶことは、物事を深く考えたり、豊かに感じたりする力、確かな知識や技能を身につけることであり、将来の生活において物事の実現の可能性を広げ、豊かな人生を過ごすための糧となる。学ぶことのすばらしさを子どもたちに実感させ、夢や希望を抱いて意欲的に学び生活する子どもたちを支え、伸ばすことが学校の使命と考える。

■資料「平成22年度沼袋小学校経営方針」に沿い、学校より説明

（概要）

- ・ 私たちも、丸山小学校の教育目標に掲げる「共生」という部分は、沼袋小学校で取り組んでいることに共通していると感じている。
- ・ 沼袋小学校の教育目標は、「チャレンジ」「トレーニング」「コミュニケーション」で、

特に「コミュニケーション」には重点を置いている。授業や行事などの様々な場面で多くの保護者や地域の方に協力をいただいております、統合新校になっても人との関わりを大切にしていかなければならないと思っている。

- ◆ 昨年は野方小学校との交流を盛んに行ってきたので、本年は丸山小学校との交流を深めていこうと考えている。丸山小学校と沼袋小学校の共通したよい部分については、統合新校にも引き継いでいきたいと思う。

#### 【平成22年度沼袋小学校経営方針】

—— 保護者・地域と一緒に子どもを育てる実践型コミュニティ・スクール ——

#### 《沼袋小の教育の原則》

- ◆ 「子どものために」の軸足がぶれないようにする。～児童一人一人を伸ばす。
  - 人間性・個性の開発
  - 社会に生きる力
- ◆ 指導、評価において、「伸びしろ」「縮みしろ」を重視する。

#### 《沼袋小の教育の目的》

- ◆ 豊かな心と確かな学力を育て、一人残らず輝かせる。
  - 学校は楽しくなければならぬ。特にいじめや不登校、学級崩壊があってはならない。
  - 豊かな心とは、自分を伸ばすために挑戦し努力する意識や他を思いやる心である。意欲は物事に挑戦し（チャレンジ）努力し（トレーニング）達成したときの成就感、（時には失敗も）、他からの承認・賞賛、また他に役立つ喜びから生まれる。他を思いやる心は、人や自然とのかかわり（コミュニケーション）の中で育つ。豊かな心は確かな学力の基盤でもある。
  - 確かな学力のうち、特に大事なものは学ぶ意欲と学ぶ力である。

#### 《教育目標（教育と学習の合い言葉）》

- ◎ チャレンジ…挑戦する子（T…色々な課題に挑戦させ、達成感や満足感を味あわせる。）
- ◎ トレーニング…きたえる子（T…努力により、力を伸ばさせる。）
- ◎ コミュニケーション…かかわる子（T…人とのかかわりを通して、豊かな心を育てる。）

#### 《教育環境》

- (1) 保護者・地域と一緒に子どもを育てる実践型コミュニティ・スクール
- (2) 小規模校の条件を生かし、一人一人が活躍する機会・場の充実
- (3) 教職員一人一人が個性・能力を発揮すると共に、学び合い協力し合う。

#### 《特色ある施策等》

- ◆ サポーター（学校支援ボランティア）協力の教育活動
  - コミュニティ型行事、クラブ、わくわく教室、教科、道徳、総合、学活
- ◆ 丸山小学校・野方小学校との交流
  - 統合準備委員会（年4回）
  - 野方小学校児童との交流（岩井臨海学園、金管バンド、コミュニティコンサート、学年の交流）
  - 丸山小学校児童との交流（学年の交流）
- ◆ 総合的学習の時間…環境・福祉・国際・伝統・造形・情報等の課題
  - 国際交流（外国人との交流）

- 福祉交流（障害者、高齢者との交流）
- エコクラブ
- ◆ 地域と連携した体力向上プラン…一輪車、綱引き、マラソン、縄跳び 他
- ◆ 特別支援教育…のびのび教室、要配慮児童（情緒、外国からの子、不登校 他）
- ◆ 地域のイベント・サークル活動への参加奨励
- ◆ 幼稚園・保育園・中学・高校・大学等との連携
- ◆ 若手教員育成、学生ボランティア育成と校長の指導、校長による授業（後期各学年1回、平成23年2月～3月頃）

#### 副委員長

事務局及び学校より説明があったが、意見などがあればお願いしたい。

—— 特になし ——

#### 副委員長

特に意見はないようなので、この議事については終了する。

学校においては、引き続き子どもたちのために検討を進めてもらいたいと思う。

### (3) 統合新校の通学路について

#### 副委員長

次に、「統合新校の通学路」に移る。この議題についても、まずは事務局より議事の趣旨について説明してもらい、その後に学校より資料の内容を説明してもらう。

#### ■議事の趣旨について、事務局より口頭にて説明

（概 要）

- ・ 先ほど説明した統合新校の教育目標などと同様に、両校では、統合新校の通学路についての話し合いが進められている。
- ・ 通学路についても最終的には学校が指定するものではあるが、本日は統合委員会の各委員から新たな通学路についてご意見などがあれば伺い、今後の両校での話し合いの参考にしてもらいたいと考えている。
- ・ 配付した資料は、現在の両校の通学路を示したものである。本日の協議の参考としてもらえればと思う。

#### ■資料「統合新校の通学路について（検討資料）」に沿い、学校より説明

（概 要）

##### ○丸山小学校

- ・ 資料のピンク色の線は、現在の丸山小学校の通学路である。通学路としてはもっと多くの道を指定しているが、資料にはメインとなる道を印した。現在の沼袋小学校の通学路は黄緑色の線で印しているが、既にそのあたりから丸山小学校へ通っている児童も何人かいる。
- ・ 丸山小学校の通学路で新青梅街道に出るための道が何本かあるので、沼袋小学校の通学路からそこへつなげるようなかたちで新たな道を指定していくことになると思う。

##### ○沼袋小学校

- ・ 沼袋小学校の通学区域から統合新校（現在の丸山小学校）へ通うには、どうしても新青梅街道を渡らなければならない。新青梅街道を渡る場所については2箇所程度を考えており、1

箇所は中野丸山郵便局の近くにある歩道橋で、もう1箇所はその歩道橋から東に進んだ2つ目の信号である。

- ・ 沼袋駅につながるバス通りは、朝、自転車がものすごい速さで走っており、バスとのすれ違いなどもあって危険なので、通学路としては指定しないことを考えている。

#### **副委員長**

事務局及び学校より説明があったが、意見などがあればお願いしたい。

#### **委員**

通学路を指定する理由というのはあるのか。また、通学路に指定されると、その道に「文」のマークが付いたりするのか。

#### **委員**

通学路を指定するのは、地域班を編成して集団下校する場合のコースを指定するということにもなる。また、通学時に事故に遭った場合、正規の通学路を通っているかどうかということが重要になる。学校としては、子どもの安全を考えて通学路を指定している。

先ほど説明した道は、丸山小学校の通学路に指定されている道なので、既に「文」のマークが付いている。

#### **委員**

先ほど説明のあった新青梅街道を渡る信号であるが、ここは、朝、非常に多くの車が通る。新青梅街道側からは見通しがよいが、沼袋駅側からは見通しが悪く、道も狭い。黄色信号にもかかわらず車が交差点に進入してくることがよく見受けられるので、通学路としては適さないとと思う。

#### **委員**

あそこは抜け道になっているので、交通量が多いのだと思う。

#### **委員**

どこを渡れば安全なのか、教えていただけるとありがたい。

#### **委員**

歩道橋が一番安全であるが、沼袋地域センターの1つ西側の信号であれば、比較的に見通しがよく安全だと思う。

#### **委員**

各委員より出された意見を参考に、再度、学校で通学路の検証をしてみたいと思う。よい案があれば、また教えていただきたい。

#### **委員**

先ほどの説明にあった歩道橋のところであるが、近隣の中学校の生徒が、歩道橋を使わずに横断歩道のない場所を渡っているのをしばしば見かける。そういった状況で、小学生がきちんと歩道橋を使うかどうか危惧する部分がある。

#### **委員**

今の意見については、近隣の中学校の先生に相談してみる。

#### **副委員長**

ほかに意見があればお願いしたい。なければ、この議事については終了する。

**(4) その他**

## 副委員長

最後に、「その他」である。校歌制作に関して報告事項があるとのことなので、事務局より報告してもらう。

■資料「校歌制作者への提供資料（校歌の歌詞に入れたい言葉等の募集結果）について」に沿い、事務局より報告

（概要）

- ・ 前回の統合委員会の協議において、児童などから募集した「校歌の歌詞に入れたい言葉等」のうち、両校の校歌を真似たようなフレーズなどは除いたうえで、校歌制作者へ渡すこととなった。協議の結果に基づいて、校歌制作者へ提供する資料を修正したので、確認のために配付させていただく。
- ・ また、先日、委員長と副委員長、両校の校長に集まっていただき、校歌の制作をどなたにお願いするかを協議していただいた。“小学生が歌いやすい歌をつくれるか” “学校や中野区に関わりやゆかりがあるか” など、様々な視点から検討していただき、交渉していく順番を決めていただいた。
- ・ 今後、事務局では、この決められた順番に従って交渉を進めていく。

【校歌制作者への提供資料（校歌の歌詞に入れたい言葉等の募集結果）について】

	校歌の歌詞に入れたい言葉等（単語・フレーズ）
あ	・ 青空の下 ・ あかるい（明るい） ・ あかるいがっこう ・ あかるいたいよう ・ 明日 ・ 遊び学んで ・ あふれる笑顔
い	・ いのち
う	・ うれしい
え	・ 笑顔
お	・ 大きな心 ・ 大空 ・ 思いやり
か	・ かがやく（輝く） ・ かがやく学校 ・ かがやくしぜん ・ 輝く瞳 ・ かがやくみらい（輝く未来） ・ 感謝の気持ち ・ がんばろう
き	・ 木 ・ キセキ ・ きっと ・ 希望 ・ 希望に満ちて ・ 希望の光 ・ キレイ ・ きれいな
く	・ くさ
け	・ 元気 ・ 元気いっぱい ・ げんきな ・ 元気な声 ・ げん気にあそぶ
こ	・ こえ ・ 心 ・ 子どもたち ・ 子供の声
し	・ しぜん（自然） ・ 親しき友と ・ 自分で ・ しょう学校
す	・ すくすく育つ
せ	・ 前進
た	・ 大地にかがやけ ・ たのしく ・ たのしくすごす ・ たのしくべんきょうをする
つ	・ 強く
と	・ 友 ・ 共に生きる ・ 共に育つ
な	・ 仲良く

ね	・ね（木の根）
は	・はっぱ ・はつらつ ・はな
ひ	・ひかりかがやく ・光る野原 ・ひらく ・広い校庭
ほ	・ぼくらは緑と生きている
ま	・守る
み	・自ら ・みどり（緑） ・みどりがひかりだす ・緑野子 ・みどりのしょう（緑野小） ・緑野小学校 ・緑の大地 ・緑の野原 ・みどりのは ・みどりのはっぱにかこまれて ・みどりはきれいないろの小学校 ・みらい（未来） ・みんなで力をあわせる
や	・優しき友 ・やさしく
ゆ	・ゆう気をだして
わ	・わかば

#### 副委員長

それでは、本日の議事を終了する。

最後に、次回の日程調整を行う。

—— 日程調整 ——

#### 副委員長

次回は、9月13日（月曜日）午後6時半から、沼袋地域センターで開催する。

本日の統合委員会は、これをもって閉会する。